

平成12年度雄飛ヶ丘支部 年間活動計画

年月	活動計画	年月	活動計画
12年	3/31 (金) 常任理事会 (新メンバー)	10月	15 (日) 自治連体育大会 (共催)
4月	14 (金) 常任理事会 23 (日) 総会		31 (火) 第2回支部だより発行 26 (木) 高齢者を囲む会
5月	19 (金) 福祉講座 (美谷苑見学) 31 (水) 第1回支部だより発行	11月	17 (金) 常任理事会 28 (火) 普通救命講習会
6月	22 (木) 健康づくり教室 18 (日) 歩け歩け	12月	14 (木) 歳末福祉座談会 24 (日) 年末友愛訪問
7月	9 (日) 会員募集説明会 28 (金) 常任理事会	13年	26 (金) 常任理事会 (献立会議)
8月	ふれあい野外映画会	1月	
9月	8 (金) 常任理事会	2月	15 (木) ひとり暮らし老人を囲む会
		3月	16 (金) 常任理事会 31 (土) 第3回支部だより発行

平成12年度 社協雄飛ヶ丘支部 役員名簿

役職名	氏名	住所	電話番号	備考
支部長	多和田英夫	雄飛ヶ丘町8-17	82-3610	
副支部長	長田多美男	雄飛ヶ丘町18-30	83-1502	自治会連合会長 雄飛ヶ丘10自治会長
常任理事	安藤 忠夫	入会町2-90	82-4950	
福祉推進員計	若山 文子	雄飛ヶ丘町18-21	82-6766	民生児童委員
福祉推進員書記	北村 末子	雄飛ヶ丘町28-1	83-2615	
	浅野 敏子	雄飛ヶ丘町10-14	82-8319	
	永盛 行信	雄飛ヶ丘町8-8	82-0514	
	大山 安太郎	入会町3-35	83-1951	
	横山 春夫	雄飛ヶ丘町2-25	82-7250	入会町1・2自治会長
	堀 二一	昭南町4	83-2563	昭南町自治会長
理事	江崎 康彦	雄飛ヶ丘町3-30	83-4386	雄飛ヶ丘1自治会長
	鹿島 福男	雄飛ヶ丘町4-29	83-3990	雄飛ヶ丘2自治会長
	玉井 正弘	雄飛ヶ丘町7-23	82-0744	雄飛ヶ丘3自治会長
	神田 静雄	雄飛ヶ丘町11-26	82-6596	雄飛ヶ丘4自治会長
	人戸野 猛	雄飛ヶ丘町14-26	82-5951	雄飛ヶ丘5自治会長
	伊藤 喬	雄飛ヶ丘町15-17	82-3206	雄飛ヶ丘6自治会長
	中田 喜代司	雄飛ヶ丘町26-35	82-4829	雄飛ヶ丘7自治会長
	土屋 太郎	雄飛ヶ丘町28-1	82-7352	雄飛ヶ丘8自治会長
	野毛 宣洋	雄飛ヶ丘町24	83-2938	雄飛ヶ丘9自治会長
	中村 紀男	入会町3-121-1	82-2747	入会町3自治会長
	立岩 定宏	入会町4-80	82-8259	入会町4自治会長
	久富 眞	不動丘2-150	83-7069	不動丘南自治会長
	佐野 信之	不動丘2-44	83-5009	不動丘北自治会長
	今西 貞子	入会町4-47	89-0760	民生児童委員
	大川 英美子	雄飛ヶ丘町13-19	89-2099	
	酒井 きぬ子	不動ヶ丘町2-127	82-2588	
	田中 雄三	雄飛ヶ丘町10-25	83-3092	桜丘中PTA副会長
	土原 功	雄飛ヶ丘町6-33	71-6063	消防団班長
	宮口 たづ子	雄飛ヶ丘町14-21	82-2646	三世代ふれあい指導員
	松岡 田鶴子	不動丘2-191	82-4849	
	武藤 典子	入会町3-69	82-5798	ボランティア
	天木 弘子	昭南町53	82-8880	
	杉山 順子	昭南町8	82-6439	
	古川 栄子	昭南町90-1	89-3564	
	荒川 康子	雄飛ヶ丘町11-11	82-4923	近隣ヶアグループ
監事	長谷川 一郎	入会町3-25	83-5037	老人会会長
	江崎 良子	雄飛ヶ丘町8-11	82-5608	ボランティア

社協雄飛ヶ丘支部だより

ゆーっぴ

平成12年度第1号

発行 社協雄飛ヶ丘支部
支部長 多和田英夫
発行日 平成12年6月30日
今回の記事：平成12年度の支部社協活動が始まります。



ふれあいまつり

支部長 多和田英夫



も変わらぬ支部活動に絶大な協力と

ご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本年度も引き続き支部長としての大役をお引き受けたいと相成りました。過去4年間、会員各位のお力添えにより、大過なくその責を果たすことができ得ましたことを改めてお礼を申し上げますとともに、本年度にも倍旧に増してのご援助を賜りますようお願い

りお願いいたします次第です。



支部社協総会で新年度の事業などを審議

去る4月23日には、雄飛ヶ丘公民館におきまして、支部役員総会を開催いたしました。総会では、新年度の事業計画および予算等をご審議いただき、これをご承認いただきました。その内容を本号に掲載させていただきます。

ボランティアハウス 相談会

ふれあいききサロン

ましたので、ご精読いただき、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。この点についても今後は力を入れて参りたいと思っておりますので、重ねてお願い申し上げます。

本年4月1日より実施されました「公的介護保険制度」につきましては、関心事ではございますが、未だ多くの方にまでご理解をいただいているのが現状かと考えます。この点についても今後は力を入れて参りたいと思っておりますので、重ねてお願い申し上げます。

5月8日(月)、新年度の実施計画といたしました「ボランティアハウス及びふれあいききサロン」説明と相談会を開催いたしました。市からは齊藤主幹が、市社協からは荒川局長補佐にお越しいただき、今後の方針等の説明や実施方法等についての相談をいたしました。

これからは、自治会連合会との協同事業により、出来る限り早期に実施できるようにしてまいります。

平成12年度 雄飛ヶ丘支部社協 収支予算書

【収入の部】

科	目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	備考
1	交 付 金	280,000	280,000	
2	メニュー事業助成金	210,000	200,000	
	支部だより	70,000	70,000	
	高齢者を囲む会	50,000	50,000	
	独り暮らし老人を囲む会	50,000	50,000	
	その他の啓発事業	40,000	30,000	会員募集、健康づくり教室他
3	その他の助成金	50,000	50,000	福祉座談会他
4	繰 越 金	154,571	198,537	
5	雑 収 入	1,000	1,000	預金利息
	合 計	695,571	729,537	

【支出の部】

科	目	本年度予算額(円)	前年度予算額(円)	備考
1	事 務 費	25,000	20,000	コピー代他
2	共通実施事業費	210,000	210,000	
	福祉教育事業費	25,000	30,000	
	友愛訪問事業費	150,000	140,000	年末慰問品
	支部育成事業費	35,000	40,000	総会その他
3	メニュー事業費	265,000	260,000	
	高齢者を囲む会	65,000	60,000	
	独居老人を囲む会	60,000	70,000	
	支部だより	70,000	70,000	年3回発行
	健康づくり教室	20,000	50,000	
	会員募集事業	10,000	10,000	
	親子ふれあい映画	40,000	0	
4	特別事業費	45,000	40,000	
5	その他の事業費	120,000	130,000	
	啓発事業	20,000	20,000	福祉体験学習
	ふれあい事業	20,000	20,000	インディアカ大会(共催)
	ふれあい事業	15,000	20,000	連合会行事(共催)
	生きがいづくり事業	50,000	50,000	体育大会(共催)
	生活環境事業	15,000	20,000	福祉講座
6	予 備 費	30,571	69,537	
	合 計	695,571	729,537	



ボランティアハウス説明会

第1回福祉講座 五月十九日(金)

第1回福祉講座として今春開設となりました「飛鳥美谷苑」を見学いたしました。参加者(38名)全員は、副苑長の川嶋さんにお世話いただき、各部屋、各施設をご案内していただき、詳しくご説明していただきました。それぞれの行き届いた施設や設備に、参加者全員が感嘆しきりでした。

その後、小会議を行い、施設の内容や今後の運営方針などについて説明をお聞きするとともに、参加者が入苑することを想定した場合にどうなるのかなどについて熱心な質疑応答をさせていただきました。各自のこれからの老後を考えて



美谷苑の説明を受ける参加者

「飛鳥美谷苑を見学して」
飛鳥美谷苑を見学させて頂き、明るく広々とした空間がある雰囲気、ここが老人ホームだとはとても思えない程でした。設備も大変合理的に出来ていて 浴室な

える上で、たいへん役立ったのではないかと思ひ、苑を後にいたしました。飛鳥美谷苑の皆様にお礼申し上げます。参加者の皆さん、大変ご苦労さまでした。※不動丘の水野様より、見学に参加された感想文をお寄せいただきましたので、ご紹介させていただきます。



参加者全員で記念撮影(飛鳥美谷苑前で)

どはいろいろな老人に対応出来る様になっており、お湯も循環して使用するなどの配慮がされていて感心しました。

お年寄りの皆さんも、この様な施設が充実していれば、安心して楽しく暮らしていけると思いました。



ゆうひ

発行日 平成12年10月31日

平成12年度 第2号

発行者 社協雄飛ヶ丘支部
支部長 多和田英夫



支部長 多和田英夫
社会福祉協議会雄飛ヶ丘支部の皆様方には、日頃より支部活動に格別

のご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

本年度もはや半分を過ぎ、諸行事も順調に消化いたして参りましたが、とりわけ八月には一年で一番大切な行事であります会員募集をお願いいたしました。

各自治会長さんをはじめ、各役員の皆様方の多大のご尽力とお力添えにより、昨年並みの実績をあげることができ得たことを改めてご報告申し上げます。また、各役員のご尽力に厚く感謝申し上げます。次第です。巻末に各自治会別加入実績を集約いたしましたので、ご覧いただければ幸いです。

これからも何かとお願いを申しあげることが多いかと存じますが、何卒ご協力賜りますようお願いいたします。

秋も終わりが間近となります。寒さが厳しくなる季節を迎えることとなりますが、会員ご各位の益々の自愛を祈念いたします。

親子ふれあい映画会(八月二十九日)

毎年親子ふれあいの場として開催している「親子ふれあい映画会」を今年も雄飛ヶ丘町公園にて開催しました。当日は暑さも比較的やわらぎ、少し涼しさも感じられる夕べとなり、多くの子ども達や保護者の方々にご覧いただきました。

上映した映画は「おじいちゃん元気になってね」と、アニメ「忍たま乱太郎」でした。参加された皆さん、いかがでしたか。

社協会員加入とご協力へのお礼

社協雄飛ヶ丘支部の皆様方には、日頃より支部活動に格別のご協力をいただきまして誠にありがとうございます。各自治会長さんをはじめ、各役員の皆様方の多大のご尽力とお力添えにより、下表に記載させていただいた通り、会員の加入について昨年度並みの実績をあげることができました。ここに厚くお礼申しあげる次第です。

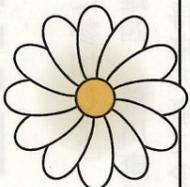
平成12年度社協会員加入状況集約結果

自治会名	自治会加入数	一般会員		特別会員		合計会員数	全体加入率%
		会員数	加入率%	会員数	加入率%		
雄飛1	71	64	90.1	0	0	64	90.1
雄飛2	55	49	89.1	8	14.5	57	103.6
雄飛3	59	52	88.1	9	15.3	61	103.4
雄飛4	56	15	26.8	44	78.6	59	105.4
雄飛5	82	68	82.9	3	3.7	71	86.6
雄飛6	68	63	92.6	3	4.4	66	97.1
雄飛7	43	31	72.1	0	0	31	72.1
雄飛8	196	187	95.4	0	0	187	95.4
雄飛9	109	91	83.5	2	1.8	93	85.3
雄飛10	40	31	77.5	7	17.5	38	95
昭南	84	71	84.5	11	13.1	82	97.6
入会1・2	80	59	73.8	11	13.8	70	87.5
入会3	83	52	62.7	30	36.1	82	98.8
入会4	49	31	63.3	4	8.2	35	71.4
不動丘南	94	33	35.1	58	61.7	91	96.8
不動丘北	111	69	62.1	17	15.3	86	77.5
合計	1,280	966	75.5	207	16.2	1,173	91.6

編集後記

社協雄飛支部だより「ゆうひ」も今年度第2号を発行することができました。お気づきになられた方もおられると思いますが、この第2号の「ゆうひ」は今までの「ゆうひ」に比べて少し趣きを変えました。これからの「ゆうひ」はできればこのスタイルで続けたいと思っています。いままでは「ゆうひ」の編集・発行をフォローで行なっていたのですが、写真やイラストなどを出来る限り多く取り入れ、またその大きさを自由に読みやすくしたいと考え、思い切ってパソコンで編集することにしました。

以前の「ゆうひ」の方が良いと思われる方もみえるかも知れませんが、お許しください。新しい「ゆうひ」では、会員の皆様のご協力を得て、内容を充実させたいと思っています。そのためには、会員の皆さんが出来る限り多くの行事などにご参加いただいて、その感想やご意見をどんどん原稿として、また活動の記録写真などとしてお寄せいただけるかにかかっていると思っています。ぜひ、お願いいたします。



ボランティアハウス説明会

五月八日、支部社協が常任理事会を開催いたしました。この常任理事会に、市高齢福祉課の斎藤主幹外二名及び市社会福祉協議会の荒川局長補佐にお越しいただいて「ボランティアハウス・いきいきサロン」についての種々の話し合いの場をもちました。これからの地域活動の主体となる事業になるものと思われ、その活動の展開については少なからず検討の必要性を感じたところです。

六月十四日、ボランティアハウス・いきいきサロンについて各自治会長さんをはじめ地域のメンバーにご参加いただき、その実施方法についての検討会を開催いたしました。いろいろなご意見やご提案をいただきましたが、とりあえず毎月二回程度を目標に実行してはどうか・・・ということの結論に達しました。

以後、毎月第二・第四火曜日にサロン準備会という形で十月末までに八回実施したところで、どうか皆様方も一度お出かけください。



ボランティアハウス・いきいきサロンの説明会
(5月8日雄飛公民館にて)





8回開催された「いきいきサロン」では趣味やお得意の分野にみんなイキイキ



介護講習会を開催(六月二十二日)

本年度第一回目の介護に関する講習会でした。市の介護支援センターよりお越しいただき、在宅介護のあり方や日頃の暮らしに生かされる様々な介助に関する利用方法や利用機器を実際に用具を使つての説明会で、参加者の皆さん方も真剣な姿で受講いただいたことと思います。
これからの生活の中でも大いに役立つものと考えます。
また、後半は四月からスタートいたしました公的介護保険に関して市社協の浅野係長さんよりご説明をしていただきました。介護保険制度には未だ皆さんの関心度が今一つの様に思いますが、少しでも理解を深めていただきましたならば幸いと存じます。



介護講習会には、たくさんの人にご参加いただきました



介護講習会に参加された坂井弘子さん(雄六) 荒川康子さん(雄四)より「在宅介護講習会に参加して」と題する感想文をお寄せいただきましたのでご紹介させていただきます。

「在宅介護講習会に参加して」

雄六 坂井弘子

町内からの回覧は私を引きつけました。若くない私如何に悔いのない老後、終末を送ることが出来るか。人間としての尊厳を最後まで持ちつづけたい大変むずかしいことだと考えて居ります。

現在は、雄飛の健康クラブでラジオ体操、ボール投げ、フォークダンス等々をみんなのおかげで楽しみ、健康な日々感謝しております。

在宅介護支援センターの所長様のお話して、介護保険のこと、現在利用されている方々のこと、ホームヘルパーさん(側面的に手助けされる)のこと等々。また、少子化が進み大正時代の老人一人を五人で支えてきたのが、平成元年は一・五人、平均寿命が伸び、また核家族も増し高齢者が高齢者の看護することも珍しくなくなつた今日、看護の疲れからのトラブル等も予想されることでしょう。また、保険の内容等を、そして各務原市の現状や認定状況、ヘルパーさんと当事者、また、ヘルパーさんのこと等を微に入り細にわたつてのお話しを伺いました。

ヘルパーさんからは、「入浴のこと」、「衣類の着替え」や「排泄について」も伺いました。着替えについては実際に体験して大変よくわかりました。緊張の二時間三十分、女性の問題としてこのような機会に恵まれたことを感謝して居ります。



「在宅介護講習会に参加して」

雄四 荒川康子

高齢者の私は、近頃将来の事に少し不安を感じて居りました時、地域介護講習会が公民館で開かれ、それに参加しました。多数の参加者の前で市職員の方からのユーモアをまじえた解り易い説明を聞き、いやでも高齢化社会に向かう時代が来た事を実感しました。

又、総合在宅介護支援センターより来られ、身近にある日用品を上手に使いこなし洗髪が簡単に出来る実演を見て感動し、おむつの交換、寝まきの着替えの手順では、介護する人・される人のモデルを交代で行なつたのですが、自分でサツサと動いて笑いを誘つたこともありました。みんな真剣に取り組んで指導していただきました。

やさしいようで難しいナと感じながら、やっぱり何度も経験してなれることだと思えました。寝たきり老人を不安がらせず、羞恥心を持たせず、手早くして差し上げる事が大切だとこの講習会に参加してよかつたと喜んで居ります。



ゆうひ

発行日 平成13年3月31日

発行者 社協雄飛ヶ丘支部
支部長 多和田英夫

平成12年度 第3号

と思いましたが。実際、参加者のみなさんは、僕たちを迎えてくれた。一緒に楽しむことができました。特に印象に残っているのは、ボランティアの生演奏によるカラオケがおこなわれていた時、昔のことを思い出したのか、涙を流しながら歌を歌っていました。音楽はその時代時代に特徴があつて、思い出のあるものだなあと思いました。僕たちがカラオケで昔の懐かしい曲を歌つて楽しんでることと同じだと思えました。このような娯楽の場が提供されることは、町のお年寄りもうれしいのではないのでしょうか。とても楽しかったし、地域のあたたかさを知りました。

「社協雄飛ヶ丘支部の活動に参加して」 竹森 大樹

今日は、雄飛ヶ丘支部社協の「一人暮らし老人を囲む会」に参加させていただきました。毎年一回行なわれている行事ですが、毎年参加される方が増えているとのこと。やはり一人暮らしの老人は増えていることがわかりました。一人暮らしの方は一人で食事をとることが多いので、このように皆で集まつて食事をとるとお話し、会話もできてとてもよいと思います。またこういう機会があると知り合いの人もでき一人暮らしで何かがあつたときもお互いに頼りになると思います。

午後からは、ボランティアの人による手品やギター演奏によるカラオケが行なわれましたが、これらもいい気分転換になります。特にカラオケはみなさんがよく知っている曲ばかりだったので、一緒に歌っている方もみえました。ただギター演奏だけが長い時間やっていたので、もう一つくらい違ったことでもよかつたのではと感じました。行事の内容を考えるのも難しいことだと思えます。こういう行事に参加することが趣味だというお年よりもみえましたので、もっと数多くみんなが集まる機会を増やしていくべきだと感じました。

雄飛ヶ丘地区社協の会員の皆様には、いつもながら地域の福祉活動は多大のご理解とご協力をいただきまして、まことにありがとうございます。平成八年度より前支部長の後任として五年のながきにわたり、微力ではございましたが、その責務を果たすべく努力してまいりましたが、本年度も大過なく年度末を迎えることができました。



「あいさつ」 支部長 多和田英夫

これもひとえに会員の皆様方に力強いご尽力とご支援を頂戴したたまものとあらためて深く感謝申しあげ、厚くお礼申しあげます。四月よりは新年度が始まり、新役員にてそれぞれの事業がスタートする運びになるものと存じますが、皆様方には何卒倍旧のご協力をいただきますように重ねてお願い申しあげまして一年間のお礼とごあいさつとさせていただきます。

普通救命講習会（十一月二十六日）

昨今、新聞紙上にも毎日報道されています様に交通事故や突発的な身近な病気や事故が数多く起きています。そんな時に少しでも救命措置が出来るようになればと考え、救命講習会を開催しました。

当日は、消防署をはじめ地元消防団の団員の方々の応援を得て、一般的な救命の知識を真剣に研修していただきました。必ずや今後の生活に対応いただけるものと確信いたします。



救命講習会↑と
歳末福祉座談会↓
(雄飛ヶ丘公民館にて)



「支部社協の活動を研修して」 林田ちはる

今日の実習はこの十二日間の中で一番楽しみにしていました。支部活動に社協がどのように関わっているのかを目標にして今日の実習に励んだのですが、はっきりした答えは出てきませんでした。

今日の実習では、支部活動の温かみを一番に感じました。やはり地域により近い組織だからこそこの温かみが出たのかなと感じ取りました。又、こういった活動がいかに重要でこれからもこういった活動を続けていく必要性を参加者の方々から感じ取ることができました。参加者の中には社協雄飛ヶ丘支部で行なっている月二回のサロンに行くことが趣味の方がみられました。なんだかその行事を自分が発案して実際に行なっている訳ではないのですが、それを聞いてとても嬉しかったです。自分はお年寄りが好きなんだなあと思つたので自分自身のことを理解し、自分もこういったお年寄りに喜ばれる企画・お世話をしたいと深く、強く思いました。

また、社協の職員の方と支部社協の人がとても仲が良く、上下関係といった感じもなく接しているのを見て、社協は本当に民間団体の組織であることを再認識しました。



編集後記

今年の冬は例年になく、寒さが厳しい冬でした。

年末から二月にかけて、七～八回積雪があつたと記憶しています。そんな寒さもおさまり、桜の便りも届く季節になりました。

雄飛社協支部だより「ゆうひ」が発行されて8年になりますが、手作りで発行してきましたが、新年度からはプロの手によって編集される「ゆうひ」となるでしょう。もっともっと読みやすく、また見やすくなることと思います。

会員のみなさんに行事に参加された感想や写真などをお寄せいただき、内容の充実にご協力ください。

歳末地域福祉座談会（十二月十四日）

地域交流と福祉の向上を目指して、介護・老人問題・近隣での見守り、などの一般的福祉の充実をはかるために多くの方々にご参加いただいて実施いたしました。

毎年このことから、活発な前向きなご意見などの発表などにより、大いに盛り上がり、予定時刻をオーバーするほどの座談会でした。

高齢者を囲む会（十一月二日）

例年のように雄飛ヶ丘地域内にお住まいの八十歳以上の高齢者の皆様方をお迎えして「高齢者を囲む会」を開催いたしました。皆さんのお元気なお姿を拝見して、私たち一同も心が休まる思いでした。最近の傾向として、年々男性の皆さんのご参加が多くなり、更に力強く感じることができました。ボランティアの皆様方による手作りの昼食を召し上がっていただきながらの世間話に花が咲いて、ひと時ではありましたが、楽しく過ごしていただいたことと思います。その後も恒例となりました雄飛ヶ丘保育園の園児のみなさんの歌や踊りを楽しんでいただき、小さな可愛い園児との交流会のひと時を過ごしていただきました。お年よりの皆さんも童心に帰っていただけのように感じました。

手作りの昼食や会場の設営にお骨折りいただきましたボランティアのみなさん、雄飛ヶ丘保育園の関係者のみなさんに厚くお礼申し上げます。



←80歳以上のお年寄りをお招きして、「高齢者を囲む会」を開催しました。ボランティアの皆さんの手作りの昼食を楽しんでいただきました。

また、恒例の雄飛ヶ丘保育園の園児たちのみなさんがお年よりの慰問に来てくれました。歌と踊りの練習の成果をお年よりの皆さんに披露してくれました。↓



年末友愛訪問（十二月二十四日）

例年のように、一人暮らしのお年より、寝たきりのお年よりの方々に自治会長さんをお願いして友愛慰問品（写真）をお届けいたしました。

年々、その対象者が多くなるのを考えると、この雄飛ヶ丘地区も確実に高齢化が進んでいることを実感いたしました。お年よりのみなさんがいつまでもお元気で暮らしていただけることを願ってやみません。

一人暮らし老人を囲む会（平成十三年二月十五日）
本年度の最後の事業になりましたが、多くのお年寄りにご参加いただいて盛況に開催することができました。

特に今回は、中部学院大学の学生さん五名が福祉実習を目的にお手伝いいただきました。（実習に参加された学生さんたちから感想を寄せていただきましたので後記いたしました。）

その後は、マジックやギターの生演奏などを聴いていただき、また懐かしい歌を合唱し、楽しい一日を過ごしていただきましたことと思います。

サロン「コスモス」開催中

毎月第二・第四火曜日の午前中は、雄飛ヶ丘公民館において、いきいきサロンを開催しています。

何の制約もありません。ただできるだけ多くの皆さんに集まっていただき、自由な時間を過ごしていただける会合です。是非一度お出かけください。



「いきいきサロン」で趣味に熱中！ぜひ、一度お出かけください。

「一人暮らし老人を囲む会」には、中部学院大学の学生さん三人（土居伸生君、林田ちはるさん、竹森大樹君）に実習としてお手伝いに加わっていただきました。三人の学生さんから当日の感想を所感としてお寄せいただきましたのでご紹介します。

「一人暮らし老人を囲む会で」 土居 伸生

一人暮らし老人を囲む会に参加して、いろいろな勉強ができました。とても公民館が懐かしく思えてきて、岐阜にいたのに、地元にいるような温かい気持ちになりました。身近に感じられた理由に、ホームヘルパー同行訪問で、訪問した利用者が今日のこの行事に参加していました。もちろん声をかけて話しました。利用者さんも、覚えていてくれたので、うれしかったです。一人でも知っている人がいると、自分もこの雄飛ヶ丘地区の一員になったような気がしました。1年に1回、雄飛支部社協の最後の行事だったので、参加者もすごく楽しみにしていることだ